

第9期きょうぎん未来基金 助成事業申請書

申請日 2017年12月20日

■基本項目

事業名	嬉野市民吹奏楽団 0歳からのファミリーコンサート		
申請金額 ※ 30万円を 上限とする	150,000円		
団体名	嬉野市民吹奏楽団		
代表者氏名 (役職)	古賀 哲郎 (団長)		(印)
団体所在地	住所 〒843-0300 佐賀県嬉野市嬉野町大字 下宿湯野田 2320-14	TEL	0954-43-1682
		FAX	0954-42-1020
		Email	ucwo.official2015@gmail.com
担当者連絡先	氏名 赤羽 浩	TEL	070-2408-1202
		Email	maestro_hiro@icloud.com
情報発信ツール (アカウントを 持ちの方のみ)	Facebook ページ URL https://www.facebook.com/ureshinowind/		
	Twitter アカウント https://twitter.com/ureshino_wind		
	ブログ URL		
	その他		

■第三者機関の認証

「CANPAN」ID ★取得数	ID () ←10桁のID番号を記入 ★(5)つ	
佐賀県市民活動団体認証推進協会	認証済み・未認証	
中間支援組織の推薦	中間支援組織名	(印)

◇◆下記の3つの書類を作成してください。◆◇

- 1.事業計画書（別紙1） 2.収支予算書（別紙2） 3.支出積算明細書（別紙3）

※本助成申請用紙を補足する資料（活動内容紹介パンフレット、ニュースレター等）がある場合：

其々5部ご準備の上、本助成申請書に同封して佐賀未来創造基金までご郵送もしくはご持参ください。

<支援有資格者情報>

認定ファンドレイザー認定者	准認定ファンドレイザー 有 ・ 無	
	氏名 :	役職 :
	認定ファンドレイザー 有 ・ 無	
	氏名 :	役職 :

■事業実施状況及び実績報告の公開方法

支援者や社会に対する事業報告	<p>該当するものに✓をつけてください。（複数選択可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>報告書の送付</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ニュースレター・パンフ</p> <p><input type="checkbox"/>メルマガ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ホームページ・facebookでの活動報告</p> <p><input type="checkbox"/>事業報告会実施</p> <p><input type="checkbox"/>現場見学会実施</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p>
----------------	---

第9期きょうぎん未来基金助成申請用紙（別紙1）

事業計画書

事業の背景と目的 (300字から400字程度)

佐賀県内、特に県西部で幼児から小学低学年までの子供向け家族向けといった本格的なコンサートの数は少なく（例えば嬉野市では子育て支援は力を入れていて講演会や講座などはよく開催されてるが音楽に触れるイベントはほぼない）、主だったものは首都圏の大規模な楽団によるツアーリングなものが主体となっている。また、大会場での開催であり、子育て中の方には周囲の目線も気になることもあり、来場までの敷居も高いものになっているのが現状である。

当楽団は2014年に結成し、嬉野市の行事や地域の依頼演奏などを活動の中心としました2017年11月には初の主催事業「嬉野市プラスフェスティバル」を成功させた。

その年間行事の一部に地元小学校の親子授業（低学年）での演奏依頼を2年連続で受け高評価をいただいた。その中で保護者や当団の小さい子供をもつメンバーからも「クローズではなくオープンに子供向けの演奏会も行っていいのではないか」という企画案もあったことから、行政ができる部分なのであればまずは自分たちが動こう、そしてもっと身近に、そして気軽に家族で楽しめる良質な音楽を、そして子供の時から演奏レベルに関わらずいろんなジャンルや生の音楽、楽器の音を聞いて欲しいそれが地域の文化芸術振興へとつながり、団としても社会的問題の一つの解決になるのでは？という考えで、この事業の計画を構想した。

事業内容 (300字から400字程度)

0歳から保護者・大人まで、どなたでも気軽に楽しみいただけて小さくとも本格的なコンサート事業を企画する。曲目も日本に昔から伝わる童謡から最近流行りの曲等を中心に飽きが来ないプログラムを計画。子供達が楽しくなる流行の見身振り手振りができるアニメの体操の音楽など一体化を目指したり、ただ聞くだけではなく、ハイハイ歩きや伝え歩き世代の小さな子供が自由に動き回れるように観覧席の1部にはマットを敷き、床すわりのお母さんでも、周囲を気にせずに音楽が視聴できる空間を演出する。またトイレや授乳ができる場所も確保するなど親たちにも配慮した場づくりをする。

ステージと客席を近くしたり、間近で楽器を見る・触る・聞くという工夫をし可能な年齢の子供たち対象に楽器体験・指揮者コーナーを設けて視聴型のコンサートではなく、視聴者側・演奏側のどちらも参加しているという参加型のコンサートを目指す。

主な活動スケジュール ※事業全体の開始年月日および終了予定年月日を明記のこと。

2018年4月1日～2019年3月末日までお願いします。

2018/4 一週目 事業計画開始・選曲及び編成決定・ステージ構成検討開始

2018/4 上旬 協賛・広告集め開始 印刷物作成開始およびコンサート告知・宣伝開始

2018/4 第一回目の練習開催（イベント開催日まで月1回の全体練習を計画）

2018/4 下旬 集中練習開催・また地元の定期イベントでのコンサート告知

2018/5 下旬の週末のどこかに開催日を1日設定し公演を行う。

※開催予定場所：嬉野市公会堂

予想される成果・効果

小さなお子さまがいる親さんも演奏会に気軽にきていただくことが見込まれる。また小さな子供にも生の演奏を通じ感受性やその他様々な刺激を与えられることができ、更に音を奏でるための様々な楽器があるという事を小さな頃から知ってもらうことで、楽器の演奏することに興味をもってもらい、次世代の芸術家を生み出す効果も得られると考えられる。

その他特記事項

このコンサートを機に行政とのかかわりを深め、将来的には市のイベントとして扱ってもらうように第1回目を成功に終わらせたい。嬉野市が欠けている文化振興の課題の解決になる施策の一部に十分値すると思うので様々な観点からじっくり取り組む必要があると考えます。

第9期きょうぎん未来基金助成申請用紙（別紙2）

事 業 収 支 予 算 書

	区 分	予算額（単位：円）	備 考
第9期きょうぎん未来基金 助成金		① 150,000	
自己資金	団予算より	70,000	
事業収益金その他 の収入	広告収入	50,000	@5000×10社 予定
	合 計	【A】 270,000	

	費 目 ※勘定科目を記載	予算額（単位：円）	予算額の内、本助成金に よる予算額（単位：円）
支 人件費	30,000	10,000	
出 会場設備費	90,000	70,000	
支 著作権使用料	20,000	10,000	
出 印刷物制作費	50,000		
支 必要経費(楽譜購入・コピー等)	70,000	60,000	
出 予備費	10,000		
	合 計	【B】 270,000	② 150,000

※【A】 = 【B】となります。

※① = ② = ③となります。

第9期きょうぎん未来基金助成申請用紙（別紙3）

事業支出積算明細書（本助成金による支出分）

(単位：円)

費目	金額	積算内訳（単位：円）
人件費	10,000	@10,000×1人（記録用カメラマン）
会場設備費①	20,000	使用予定会場(嬉野市公会堂)使用料及び付属設備使用料 大ホール@1100×8H×2日=17,600 会議室@200×8H×2日=3,200 控室@200×8H×2日=3,200 駐車場(当日のみ)@270×6H×1日=1,620 空調代
会場設備費②	50,000	音響業者費用（見積書あり）
著作権使用料	10,000	使用申請分
必要経費	60,000	楽譜作成・購入@5000×5曲=25,000 コピー費用 10,000 通信費 1,000 スタッフ旅費@2000×10=20,000 備品購入費 4,000
合計	③150,000	

※① = ② = ③となります。